

校長室の窓から No.10

平成26年11月4日
尼崎市立武庫東中学校
校長 小谷 豪 郎

北海道へ行って来ました。

全日本中学校長会研究協議会という会議に出席するために、10月8日の午後から出張で北海道へ行って来ました。久しぶりに伊丹空港から飛行機にりましたが、皆さんは知っていますか。離陸直後に左に旋回すると昆陽池の中に浮かぶ「日本列島」が見えるんですよ。約2時間の空の旅を終え新千歳空港に到着し、JRに乗り換えて1時間弱でやっと苫小牧に着きました。関西よりやはり日が暮れるのも早く6時にはもう真っ暗でやはり寒かったです。

町全体は、王子製紙という企業が中心になって拓けた町で、有名なアイスホッケー部の専用リンクや合宿所、王子総合病院、王子ホテル、市立白鳥アリーナ、紙の原料になる木材を置いておく貯木場、世界初の人工の掘り込み式の港湾が有り、工業港だけでなく北日本の最大の物流基地として発展してきた町です。また、北海道といっても雪はそんなに積もらずスキーよりもスケートが中心の町で、小学校や中学校では冬に上級生が水まき当番として、早朝に運動場に水をまいてスケートリンクにして使うそうです。

海沿いの町ですが、夏には海水浴をする人はほとんどいないらしいです、海水温が低すぎて海で泳ぐなんて考えられないらしいです。

会議が終わった夜には、せっかくの北海道ですので地元のお酒と地元の食材、食育で学ぶ地産地消の精神をたっぷり味わってきました。

余談ですが、苫小牧に宿舎がとれず札幌へ帰った先生が、途中で列車が緊急停車したそうです。なんと野生の鹿と接触したためだったそうです。野生の鹿と列車が接触事故を起こすなんてやっぱり北海道は大自然に恵まれていると実感しました。



市立総体で「チーム武庫東」頑張りました？

10月18日の土曜日、ベイコム陸上競技場に於いて、第51回の市立総体が開催されました。19校の代表選手がそれぞれに胸を張り学校代表として素晴らしい行進を見せ作れました。そんな中、本校も3年生細元さんが学校名のプラカード、同じく3年生鈴木君が旗手として先頭を歩き、続いて男女の選手36名が堂々と入場行進をして大会が始まりました。

昨年は園田中学校が男女アベック優勝しましたが、今年は男子啓明中学校、女子が園田中学校の連覇でした。我がチーム武庫東は、男子13位、女子9位、男女総合11位でした。

来年こそは、3位以内を目指して文武両道で頑張りたいです！



新人戦 チーム武庫東 頑張りました！

	《市内大会》	《阪神大会》	《県大会》
野球部	3位	×	×
ソフトボール部	3位	1回戦	×
サッカー部	予選リーグ	×	×
男子卓球部	団体3位	11月7/8日	未定
女子卓球部	団体優勝	11月7/8日	未定
男子ソフトテニス部	団体優勝	団体優勝	11月1/2日
女子ソフトテニス部	団体準優勝	団体優勝	11月1/2日
男子バスケット部	ベスト8	×	×
女子バスケット部	ベスト8	×	×
剣道部	団体準優勝	11月2日	未定
陸上競技部（総合）	女子総合優勝	10月4/5日出場	9月27/28日出場
（駅伝）	女子駅伝優勝	11月1日	11月15日
体操競技	なし	個人4位	個人17位

合唱コンクール・文化発表会が終わる

先輩たちが築いてきた伝統を今年もしっかりと受け継ぎ、素晴らしい合唱コンクールと文化発表会が開催されました。合唱で各学年の代表となった1年2組・6組、2年4組・1組、3年5組・6組、どのクラスも甲乙付けがたい素晴らしい合唱でした。その中でもグランプリに輝き学校代表としてアルカイックホールで3年5組の皆さんは、伝統を引きつぎ見事『優秀賞』に輝きました。おめでとう。感動をありがとう。お疲れ様。

毎年、本物の芸術や技に触れる機会を与えてくれる、有志の演技発表にもとても感動しました。今年もピアノとフルートのアンサンブルにバレリーナの舞、来賓の方々も素晴らしい、レベルの高さに感激・感動しておられました。



そして、吉本新喜劇のようなドタバタ劇かと思いきや、工夫を凝らした深い内容のある生徒会劇も素晴らしかったです。

しかし、圧巻はやはり3年生の学年合唱でした。毎年の伝統を引き継いだ最上級生の力を見せつけられた素晴らしい合唱、在校生がいない、地域の方でぜひ聴きたいとって来られた方もおられました。

11月4日～7日まではオープンスクール週間ですお気軽に学校へお立ち寄り下さい。

《今月のことば》 『 ありがとう（有り難う） 』

本来「そのように有ることが難しい」という意味です。それは、「当たり前」ではないということです。

私たちは、一人では生きて行けません。自然の恵みをいただき、父母をはじめ、多くの人や社会の恩恵を受けているおかげです。そこで素直に感謝のメッセージを伝え、心が温まり、人間関係をより良いものにしていく、そんな魔法のような力が「ありがとう」の一言にはあります。